

安代漆工技術研究センター入所式について

【発表の要旨】

安代漆工技術研究センターの研修生入所式を下記のとおり実施します。

1 入所式について

日時：4月7日（金曜日）午後1時

場所：安代総合支所2階202会議室

2 研修生について

新研修生（基礎課程2年）

三浦 千恵 東京都渋谷区

大里 奈々子 青森県八戸市

新研修生（基礎課程として1年の受け入れ）

ルーシー・オーク（Lucie Auque）（フランス共和国モンペリエ）

※フランス国内にて家具などを制作する工芸師である同氏は、日本の工芸・漆についても強い関心を抱いており、2018年のコルマル国際旅行博（岩手県主催）での安比塗実演販売にて、安代漆工技術研究センターの漆塗り指導者と面談し、同氏の受講希望を受け、同センターにて1年の研修受入れを検討したもの。（新型コロナウイルス感染症による渡航制限があり、5年度からの入所となった。）

研修2年生（基礎課程2年）

菊池 可恋（岩手県花巻市）

堀口 史帆（大阪市八尾市）

専攻課程（基礎課程修了後1年）

斉藤 志保（岩手県雫石町）

3 研修生の受入について

基礎課程の2年で、椀・盆等をはじめ、漆器製品への漆塗り技術・製作の習得、漆に関する基礎的な知識等の習得を行う。

専攻課程の1年は、基礎課程修了後に専攻課程に進むことを選択した者が習得した技術を活かして漆器の量産や販売の実演・実習を行う。

基礎課程または専攻課程を修了した者は、漆器生産事業所等への就職のほか、漆職人として漆器の製造販売などを行うことを目的とし、安比塗としての工芸製品の継続した生産・販売に寄与する。

【担当】

商工観光課

安代漆工技術研究センター副所長

中軽米 真人

電話 0195-74-2111（内線1320）